聖山

上映日時 4/20[10:20] 4/25[16:00] 4/30[10:20]

(1926・サイレント※音楽付) ドイツ / 白黒 / スタンダード / 90分　デジタル上映
監督:アーノルド・ファンク
撮影:ハンス・シュネーベルガー、ゼップ・アルガイヤー
出演:レニ・リーフェンシュタール、ルイス・トレンカーエルンスト・ペーターセン ほか

山岳映画の誕生を告げた先駆者アーノルド・ファンク監督による伝説的名作。実験的な表現、冬山登山の死を賭した緊迫感とメロドラマの要素が混在したこの作品は、その後作られた全ての山岳映画に影響を与えた。
主演は後に映画作家として有名になったレニ・リーフェンシュタールで、本作が映画界への最初の一歩となった。

提供:Transit Film GmbH

死の銀嶺

上映日時 4/25[13:00] 4/29[13:00] 5/2[18:20]

(1929・サイレント※音楽付) ドイツ / 白黒 / スタンダード / 134分　デジタル上映
監督:アーノルド・ファンク
撮影:ハンス・シュネーベルガー、ゼップ・アルガイヤー
出演:レニ・リーフェンシュタール、ルイス・トレンカーエルンスト・ペーターセン ほか

日本でも大ヒットしたファンク監督の代表作。世界初の冬山航空撮影を行った映画で、登山シーンのみならず、冬山を飛ぶ複葉飛行機のスリリングな映像も衝撃的。
1998年に修復されて、ハリウッド映画の作・編曲で有名なアシュレイ・アーウィンが新たに作曲し、オーケストラ演奏が加えられたサウンド版を上映。

提供:Beta Film GmbH

モンブランの嵐

上映日時 4/22[10:20] 4/29[10:20] 5/2[16:00]

(1930・トーキー版) ドイツ / 白黒 / スタンダード / 93分　デジタル上映
監督:アーノルド・ファンク
撮影:ゼップ・アルガイヤー、リヒャルト・アングスト、ハンス・シュネーベルガー
出演:レニ・リーフェンシュタール、ゼップ・リスト、エルンスト・ウテット ほか

当時最新の技術であったトーキー(発声)映画として、「死の銀嶺」とほぼ同じスタッフで制作された山岳ドラマ。
後に映画作家となり、オリンピック記録映画「民族の祭典」などを撮ったレニ・リーフェンシュタールが主演。モンブラン山頂近くの気象観測所を舞台にして、ラブストーリーと極地遭難の悲劇が交錯する。

提供:Nippon Cine TV Corp.

アイガー北壁

上映日時 4/20[13:00] 4/25[18:20] 4/30[13:00]

(2008) ドイツ・オーストリア・スイス合作 / カラー / シネスコ / 127分　デジタル上映
監督:フィリップ・シュテルツェル
撮影:コーリャ・ブラント
出演:ベンノ・フユルマン、ヨハンナ・ヴォカレク、フロリアン・ルーカス ほか

アルプス登攀史上最大の悲劇と呼ばれる、ナチス政権下の1936年に起きた実話を基に、未到のアイガー北壁に挑んだクライマーたちの壮絶な運命を現代の映像技術を駆使した迫力満点の映像で描く。
この有名な遭難事故が起こる前に作られた、アーノルド・ファンクによる一連の山岳映画との時代を隔てての相似も興味深い。

© 2008 Dor Film-West, MedienKontor Movie, Dor Film, Trilluna Film, Bayerischer Rundfunk, ARD / Degeto, Schweizer Fernsehen, SRG SSR idée suisse, Majestic Filmproduktion, Lunaris Film- und Fernsehproduktion All rights reserved

ヒマラヤ　運命の山

上映日時 4/20[16:00] 4/25[10:20] 4/29[16:00]

(2009) ドイツ / カラー / シネスコ / 104分　デジタル上映
監督・撮影:ヨゼフ・フィルスマイアー
音楽:グスターボ・サンタオラヤ　アドバイザー:ラインホルト・メスナー
出演:フロリアン・シュテッター、アンドレアス・トビアス、カール・マルコヴィクス ほか

八千メートル峰ナンガ・パルバートのルパール壁初登攀に挑む遠征隊に参加したメスナー兄弟は、登頂を果たすも絶望的な状況に陥る。登山家ラインホルト・メスナーの実体験を基に、一人生還した兄の苦悩と、登頂をめぐるスキャンダルの真相を描く。
アカデミー音楽賞を2度受賞しているG.サンタオラヤが音楽を担当。

©Nanga Parbat Filmproduktion GmbH & Co. KG 2009

新しき土

上映日時 4/22[16:00] 4/30[16:00] 5/2[10:20]

(1937) 日本・ドイツ合作 / 白黒 / スタンダード / 106分　デジタル上映
監督:アーノルド・ファンク、伊丹万作
撮影:リヒャルト・アングスト　撮影協力(特殊撮影):円谷英二　音楽:山田耕筰
出演:原節子、早川雪舟、小杉勇、ルート・エヴェラー、市川春代 ほか

当時16歳の原節子が初主演し、山岳映画の巨匠アーノルド・ファンクと伊丹万作が共同監督した日本初の国際合作映画。
日本国内はもとより世界各国で公開されて大ヒットした。クライマックス・シーンの撮影は上高地～北アルプス南部の急峻な火山山域で行われ、原節子が振袖姿で焼岳を登るなど驚きに満ちた超大作。

提供:Atlas International Film GmbH

銀嶺の果て

上映日時 4/19[10:20] 4/23[10:20]

(1947) 日本 / 製作:東宝 / 白黒 / スタンダード / 89分　35mm上映
監督:谷口千吉
脚本:黒澤明　撮影:瀬川順一　音楽:伊福部昭
出演:三船敏郎、志村喬、若山セツ子、河野秋武、小杉義男、高堂国典 ほか

戦後最初の山岳映画で三船敏郎のデビュー作。黒澤明の脚本、「ゴジラ」などで有名な伊福部昭の音楽、北アルプスでのロケなど多くの魅力に満ちた超一級のエンターテインメント大作。ロケ撮影は穂高と後立山連峰(白馬、八方尾根など)で行われ、美しい白銀の世界と、冬山登山の緊迫感が余すところなく捉えられている。

©1947 東宝

氷壁

上映日時 4/27[16:25] 4/28[10:20] 5/1[18:30]

(1958) 日本 / 製作:大映(東京撮影所) / カラー / ビスタ / 97分　35mm上映
監督:増村保造
原作:井上靖「氷壁」　脚本:新藤兼人　撮影:村井博　音楽:伊福部昭
出演:菅原謙二、山本富士子、野添ひとみ、川崎敬三、上原謙、浦辺粂子 ほか

北アルプス穂高連峰で実際に起きたナイロンザイル切断事件に題材を取った井上靖のベストセラー小説を、増村保造(監督)、新藤兼人(脚本)のコンビで映画化。山岳遭難事件に社会的な視点とラブロマンスが交錯する。登攀シーンのロケは厳冬期の谷川岳マチガ沢で行われた。音楽は今年が生誕100年の伊福部昭が担当している。

©1958 KADOKAWA

黒い画集　ある遭難

上映日時 4/27[10:20] 5/1[16:10]

(1961) 日本 / 製作:東京映画 / 白黒 / シネスコ / 87分　35mm上映
監督:杉江敏男
原作:松本清張「遭難」　脚本:石井輝男　撮影:黒田徳三　音楽:神津善行
出演:伊藤久哉、香川京子、土屋嘉男、児玉清、和田孝 ほか

松本清張の短編集『黒い画集』から、山岳遭難とミステリーが緻密にミックスされた『遭難』を映画化。東宝娯楽映画を牽引した杉江監督は、本作を自身のベストムービーの一つに挙げていた。
前半は夏山、後半は冬山登山の緊迫したシーンが続き、物語の舞台である北アルプス鹿島槍ヶ岳で実際にロケ撮影が行われている。

©1961 東宝

山の讃歌 燃ゆる若者たち

上映日時 4/23[16:25] 4/24[10:20] 5/1[10:20]

(1962) 日本 / 製作:松竹 / カラー / シネスコ / 90分　35mm上映
監督:篠田正浩
原作:有馬頼義　脚本:白坂依志夫　撮影:小杉正雄　音楽:山本直純
出演:山村聡、田村高廣、岩下志麻、早川保、山田五十鈴、倍賞千恵子 ほか

原作は有馬頼義の短編『三人の息子』で、脚本は「氷壁」の増村保造監督とのコンビが有名な白坂依志夫。封建的な家庭に育った兄弟が親の強要する出世主義に逆らい、尊厳を取り戻すため困難な登山に挑む。
篠田正浩監督は「ぼくの中の一種の私小説として、自分の心情的な気持を映画に託した」と語っている。

©1962 松竹株式会社

八甲田山〈完全版〉

上映日時 4/19[13:30] 4/24[13:30] 4/28[13:30]

(1977) 日本/製作:橋本プロ、東宝映画、シナノ企画/カラー/シネスコ/172分　ニュープリント35mm上映
監督:森谷司郎
原作:新田次郎　脚本:橋本忍　撮影:木村大作　音楽:芥川也寸志
出演:高倉健、北大路欣也、三國連太郎、加山雄三、加賀まりこ、秋吉久美子 ほか

世界山岳史上最悪とも言われる遭難事故を題材にした、新田次郎の小説『八甲田山死の彷徨』を豪華スターの競演で映画化。雪中行軍のロケ撮影は八甲田山と、同じ青森県の岩木山で行われて過酷を極めた。
今回の上映では、公開時にカットされたシーンを復元した"完全版"をニュープリント35mmフィルムで上映する。

©橋本プロ、東宝映画、シナノ企画

聖職の碑

上映日時 4/23[13:00] 4/27[13:00]

(1978) 日本 / 製作:東宝映画、シナノ企画 / カラー / シネスコ / 153分　35mm上映
監督:森谷司郎
原作:新田次郎　脚本:山内久　撮影:木村大作　音楽:林光
出演:鶴田浩二、岩下志麻、三浦友和、北大路欣也、大竹しのぶ、笠智衆 ほか

実話に基づく新田次郎の同名小説を「八甲田山」に続き森谷司郎監督が映画化。大正2年、中央アルプス木曽駒ヶ岳で、小学校の修学登山中に暴風雨が襲い、教師と生徒計11人が犠牲となった遭難事故の顛末を描く。
単なる悲劇を超えて、教師と生徒、自然と人間が織り成すヒューマン・ドラマとして心に訴えかける秀作。

©1978 東宝、シナノ企画

植村直己物語

上映日時 4/22[13:00] 4/26[10:20] 5/2[13:00]

(1986) 日本 / 製作:電通、毎日放送 / カラー / ビスタ / 140分　デジタル上映
監督:佐藤純彌
原作:植村直己　脚本:岩間芳樹、佐藤純彌　撮影:並木宏之　山岳撮影:阿久津悦夫　音楽:ウィンダム・ヒル
出演:西田敏行、倍賞千恵子、古尾谷雅人、若林豪、池部良、乙羽信子 ほか

冒険とは・・生きて帰ること。冬のマッキンリーで消息を絶った植村直巳の生涯を、実際にエベレスト、アラスカ、キリマンジャロなどでの極地ロケを敢行して描いた伝記映画。
山岳部の落ちこぼれだった学生時代から、五大陸最高峰単独登頂、北極圏犬ぞり単独行と続く道程を夫婦の物語として描き、深い余韻を残す。

©電通、毎日放送

剱岳　点の記

上映日時 4/24[18:20] 5/1[13:00]

(2009) 日本 / 製作:「劔岳 点の記」製作委員会 / カラー / シネスコ / 139分　35mm上映
監督・撮影:木村大作
原作:新田次郎　脚本:木村大作、菊池淳夫、宮村敏正　音楽:池辺晋一郎
出演:浅野忠信、香川照之、松田龍平、仲村トオル、夏八木勲、役所広司 ほか

「八甲田山」や「聖職の碑」を撮影した名カメラマン木村大作が、初監督作で新田次郎の同名小説を映画化。明治時代末期に、日本地図完成のため未踏峰とされる剣岳に挑んだ男たちの苦闘を描く。
北アルプス立山連峰で長期間のロケ撮影が行われ、その美しい自然をフィルムに捉えた。

©2009「劔岳 点の記」製作委員会

●作品解説トーク付き特別上映●

〈協力〉富山県[立山博物館]　ゲスト:布川欣一(登山史・山岳文学研究家)

上映日時 4/26[14:00]

雪の立山、針の木越え

雪の立山、針の木越え

制作:伊藤孝一　撮影:勝野銈四郎、伊藤孝一　(1923撮影・記録映画・サイレント※無音) 白黒/42分　デジタル上映

雪の薬師、槍越え

雪の薬師、槍越え

制作:伊藤孝一　撮影:勝野銈四郎、伊藤孝一　(1923-1924撮影・記録映画・サイレント※2000年に作品化、音楽・ナレーション付き) 白黒/48分　デジタル上映

伊藤孝一は大正後期に大規模な登山・撮影隊を組織し、積雪期の北アルプスを踏破。山行を35mmフィルムに記録した。
その業績は激動の時代と共に忘れ去られたが、戦後フィルムが再発見されて再編集・作品化された。その貴重な映像を上映し、日本の山岳映画の原点を訪ねる。

TICKET【1枚につき1上映回有効】

www.syabi.com

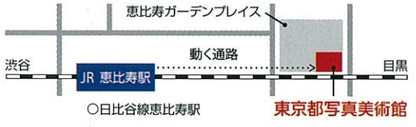
当日券《一般》1,500円 《シニア・学生・小中高校生・障害者手帳をお持ちの方》1,000円
前売券 1,300円　※前売券は期間中1上映回のみ有効。日時指定券ではありません。

【チケットぴあ】●http://pia.jp/ ●Pコード:465-429 ●セブン-イレブン、サークルK・サンクス、チケットぴあ店舗
【東京都写真美術館】●1F受付カウンターにて販売(10:00～18:00 月曜休館 / 月曜日が祝日の場合その翌日)
【有隣堂書店　アトレ恵比寿店】

当日割引
●以下については一般当日料金を1,000円とします。
①東京都写真美術館で開催の展覧会、映画の半券持参者(半券1枚につき一回の割引)　②東京都写真美術館友の会の会員(会員証提示)
③三越カード、伊勢丹カード・アトレクラブビューSuicaカード(会員証提示)
●夫婦50割引は、どちらかが50歳以上の夫婦の場合、2人で2,000円とします。

東京都写真美術館ホール

●JR恵比寿駅東口改札より徒歩7分 / 地下鉄日比谷線恵比寿駅より徒歩10分
●Tel.03-3280-0099(代表)
●1F Cinema Hall (座席190席、身体障害者用車椅子席3席)



《上映スケジュール》

4/19 土	10:20 / 銀嶺の果て	13:30 / 八甲田山 (完全版)		
20 日	10:20 / 聖山	13:00 / アイガー北壁	16:00 / ヒマラヤ 運命の山	
21 月	休館日			
22 火	10:20 / モンブランの嵐	13:00 / 植村直己物語	16:00 / 新しき土	
23 水	10:20 / 銀嶺の果て	13:00 / 聖職の碑	16:25 / 山の賛歌 燃ゆる若者たち	
24 木	10:20 / 山の賛歌 燃ゆる若者たち	13:30 / 八甲田山 (完全版)		18:20 / 剱岳 点の記
25 金	10:20 / ヒマラヤ 運命の山	13:00 / 死の銀嶺	16:00 / 聖山	18:20 / アイガー北壁
26 土	10:20 / 植村直己物語	14:00 / 特別上映 ※作品解説付、2作品併映「雪の立山、針の木越え」「雪の薬師、槍越え」		
27 日	10:20 / 黒い画集 ある遭難	13:00 / 聖職の碑	16:25 / 氷壁	
28 月	10:20 / 氷壁	13:30 / 八甲田山 (完全版)		
29 火・祝	10:20 / モンブランの嵐	13:00 / 死の銀嶺	16:00 / ヒマラヤ 運命の山	
30 水	10:20 / 聖山	13:00 / アイガー北壁	16:00 / 新しき土	
5/ 1 木	10:20 / 山の賛歌 燃ゆる若者たち	13:00 / 剱岳 点の記	16:10 / 黒い画集 ある遭難	18:30 / 氷壁
2 金	10:20 / 新しき土	13:00 / 植村直己物語	16:00 / モンブランの嵐	18:20 / 死の銀嶺

○開場は10分前予定　○各回入れ替え制　○全席自由席　○未就学児の入場不可
○ご入場は、当日10時からホール受付カウンターにて前売鑑賞券の提示または当日券購入に際して発行する、各回の入場整理番号順となります。(当日複数回をご鑑賞される方は、ご来場時に各回の入場整理番号の発行を受けて下さい。)

アフタートークイベント開催情報は公式HPで告知いたします。**www.yamaeiga.com**